

民謡功労章を受章



長谷在住の飯塚柳悦（飯塚よし子）さんが、民謡三章の一つである民謡功労章を受章されました。民謡功労章は、民謡民舞の研究、指導、普及、協会運営・発展に多大な貢献をした方に公益財団法人日本民謡協会から贈られるものです。

飯塚さんは、昭和48年の日本民謡協会茨城県連合会発足当時から50年以上にわたり、民謡の普及・発展に尽力されています。また、平成5年〜10年度まで茨城県南部連合会副会長を務め、退任後も連合大会をはじめとする協会事業に大きく貢献されています。それらの功績に対して功労章が贈られました。おめでとうございます。

飯塚さんは、御年88歳の現在も、代表を務める坂東会の皆さんと精力的に活動されています。

将門まつりと同時開催する民謡舞踊まつりにも出演されています。また、コロナ禍前に14年間にわたり行っていた保育園での民謡指導も再開させたことなどです。「猿島豊年音頭など、民謡は地域の歴史や記録を唄い継いできました。私たちの代で絶やさず、次の世代に繋げていきたいです。」とお話いただきました。

平成19年に、飯塚さんが岩井地区を巡り、地元の方に聞き取りして作った発掘民謡「麦つきをどり」をご紹介します。江戸時代の利根川の工事により木間ヶ瀬が分断されたことや、辺田の松並木通りより弓馬田から取手まで繋がる現在の高崎坂東線沿いのあたりが栄えていたことなど、当時の状況が感じ取れます。なお、「麦つきをどり」の発表に対して、両国国技館（東京都墨田区）で開催された平成22年度民謡民舞全国大会において感謝状が贈られています。

麦つきをどり

- 一、土手の桜は（ナンタヨ） 嵐でももめる（コラシヨ）
私しやあの子で気ももめる（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 二、村の若い衆（ナンタヨ） 野良仕事いそげ（コラシヨ）
十日の晩から盆おどり（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 三、切れた木間ヶ瀬（ナンタヨ） 流れた長須（コラシヨ）
訳のわからぬ若林（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 四、人情渡し場（ナンタヨ） 小山の里に（コラシヨ）
矢作むすめは嫁となる（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 五、ここは神田山（ナンタヨ） この沼越えて（コラシヨ）
会いに行きたや中里へ（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 六、幸田榎橋（ナンタヨ） 七色ぎつね（コラシヨ）
俺らも二、三度たまされた（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 七、弓田と馬立の（ナンタヨ） 境の松は（コラシヨ）
枝は弓田村 根は馬立（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 八、善くも咲いたよ（ナンタヨ） 飯沼べりに（コラシヨ）
坊主だましの蓮の花（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 九、三村の土手に（ナンタヨ） なせ駒つなぐ（コラシヨ）
駒が蹴れば花が散る（ハアソレキタドッコイシヨ）
- 十、盆の踊りも（ナンタヨ） 今晩かきり（コラシヨ）
明日の晩からタバコ（ハアソレキタドッコイシヨ）

キックボクシング全国大会優勝



12月10日、北ガスアリーナ札幌46（北海道札幌市）においてALL JAPAN AMATEUR KICKBOXING CHAMPIONSHIPS 2023が開催され、東京予選大会を勝ち抜いて出場した風見幸志さん（岩井第一小）がU10-28kgの部で見事優勝を勝ち取りました。

なお、風見さんは、11月18日に新宿FACE（東京都新宿区）において開催されたKNOCK OUTアマチュア大会のジュニア27.5kgトーナメント、1月21日にゴールドジムサウス東京ANNEX（東京都大田区）において開催されたジャパンキックボクシング協会 第10回アマチュアキックボクシング大会の29kg級トーナメントでも優勝されています。おめでとうございます。

「今年は10冠を目標にしています。もっと強くなって、将来はK-1などで活躍している武尊（たける）選手のようなキックボクサーになりたいです。」と夢を語ってくれました。今後の益々の活躍を期待しています。